

平成29年度第7回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成30年1月26日（金） 13：15～14：15

場 所：各コア校（遠隔会議システム）

議 題：

1. SPODフォーラム2018について

- ・SPODフォーラム2018プログラム（案） 【資料1－1】…P1
- ・SPODフォーラム2018シンポジウム実施要項（案） 【資料1－2】…P3

2. 平成28年度事業評価委員会委員からの指摘事項に対する対応状況について

- ・平成28年度事業評価委員会委員からの指摘事項に対する対応状況について（案） 【資料2】…P5
- ・平成28年度事業評価委員会委員からの指摘事項に対する対応について 【参考資料1－1】…P9
- ・平成28年度SPOD事業の評価について 【参考資料1－2】…P11
- ・SPODの将来構想について 【参考資料1－3】…P17

3. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員の改選について

- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員の改選について（案） 【資料3】…P19
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（平成29年10月1日現在）
【参考資料2】…P21

4. 平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会、SPOD設立10周年記念講演会及びFD／SD分科会の開催について

- ・平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会、SPOD設立10周年記念講演会及びFD／SD分科会実施要項 【資料4】…P23

5. 平成29年度SPOD研修プログラム実施状況について

- ・平成29年度SPOD研修プログラム実施状況 【資料5－1】…P25
- ・平成29年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧（案） 【資料5－2】…P27
- ・平成29年度SPOD加盟校教職員プログラム受講状況（設置形態別） 【参考資料3－1】…P29
- ・平成29年度SPOD加盟校教職員プログラム受講状況（県別） 【参考資料3－2】…P31
- ・平成28年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧 【参考資料3－3】…P33

6. 平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について

- ・平成29年度全体総括（平成29年度活動報告書抜粋）（案） 【資料6】…P35

7. 愛媛大学教育改革シンポジウムについて

- ・愛媛大学教育改革シンポジウム実施要項 【資料7】…P43

8. その他

SPOD フォーラム 2018 シンポジウム実施要項（案）

1. 日 時 平成 30 年 8 月 30 日（木）15：30～18：00
2. 場 所 香川大学幸町キャンパス教育学部 415 講義室
3. タイトル 「大学教職員に今、何が求められるのか」

4. 趣 旨

平成 29 年度より、SD(Staff Development)が義務化された。平成 20 年度の FD(Faculty Development)義務化から早 10 年、大学教職員の能力開発は、確実にその対象と内容を拡充しつつある。他方、法人化以降、こうした大学改革が矢継ぎ早に行われることによって、大学教職員が疲弊してきたのも事実であろう。はたして、大学教職員に今、何が求められているのか。また、それをふまえて、我々はどのように行動すればよいのだろうか。大学教職員の能力開発を考えるにあたっての核ともいえるこの問いを、本シンポジウムでは考えたい。奇しくも、平成 30 年度は SPOD 設立から 10 年という節目の年にあたる。その節目の年に、「教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」を SPOD フォーラム 2018 の全体テーマとして掲げ、シンポジウムでは参加者の皆様と一緒に SPOD の 10 年を振り返り、これからの 10 年を考える。本シンポジウムによって、四国内外の大学等における教職員の能力開発に寄与したい。

5. スケジュール

15：30～15：40

趣旨説明 高橋尚志（香川大学大学教育基盤センター長）

15：40～16：20

基調講演① 金子元久（筑波大学特命教授・香川大学経営協議会委員）

16：20～17：00

基調講演② 山口裕之（徳島大学総合科学部准教授）

17：00～17：10

休憩

17：10～17：30

指定討論 小林直人（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク企画・実施統括者）

17：30～18：00

ディスカッション「大学教職員に今、何が求められるのか」

金子元久・山口裕之・小林直人／司会：高橋尚志

平成28年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応状況について（案）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（以下「SPOD」という。）では、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第11条及び事業評価委員会要項に基づき、SPOD事業に対して評価を行い、SPOD実施事業の改善に資することを目的として、事業評価委員会を実施している。

平成28年度は、平成29年2月6日に事業評価委員会を実施し、事業評価委員からは、SPOD事業の定量的指標達成度一覧により各事業の重み付けを視認できる点や、加盟校への波及効果が見られた点等について高い評価をいただいたが、下記「Ⅰ 平成28年度事業評価委員会からの指摘事項について」のとおり、今後の取組を推進する上での課題等について指摘があった。このためネットワークコア運営協議会（以下「コア運営協議会」という。）において対応を協議し、「Ⅱ 平成29年度の対応状況について」のとおり対応を行った。

Ⅰ 平成28年度事業評価委員会からの指摘事項について

1. FD・SDプログラムの充実

- ・新任教員研修プログラムの方法や発展について検討してみてもどうか。
（例：レクチャー部分の動画化による反転型研修の実施など）
- ・FDプログラムにおいて、CD（カリキュラム改善）やOD（組織の整備・改革）をいかに充実させるかが課題であろう。
- ・「戦略的プランニング」の手法を学ぶことができるプログラムを導入できるとよい。
- ・研修料の値上げに伴い、研修を担当する講師のクオリティには注意を払っておいたほうが良いだろう（特にSPOD内育成）。
- ・「職員のための講師養成講座」「次世代リーダー養成ゼミナール」「SPOD－SDC」の各取組の目的と相互の関連性を説明づけるよう見える化を図ってどうか。

2. SPOD事業に対する各加盟校（特に私立大学）の関わり

- ・FDプログラムへの私立大学の参加が少ない。
- ・SDプログラムにおいても、私立大学からの参加者を多くすることができる企画を検討できないか。
- ・SPOD事業の定量的指標達成度一覧に加え、加盟校毎に同じような枠組みで確認することができれば、加盟校がSPODをどのように活用しているのかの状況を量的に把握することができる。
- ・SPODの各事業に対する加盟各校の参加度合の状況について集計・把握し、学校名が特定できないように配慮しつつ、加盟校の参加底上げに向けた基礎資料としてはどうか。

3. 調査・研究の実質化

- ・事業の客観化と有意性に説得力を付与する意味でも有用な取組である。
- ・加盟校に対してアンケートとヒアリングを実施する等して、SPODに対する加盟校のニーズや期待を把握する機会を設けることにより、今後の取組の一助とすることができるのではないか。

4. SPOD事業評価の在り方

- ・「SPODの将来構想について」により中長期の方針が策定され、構想や計画が固まっていく中、それをどのように改善につなげていくか議論の余地があると思われる。「評価」という言葉にこだわる必要もなく、例えば「SPOD事業モニター会議」のような名称でディスカッションを設けるといったことはできるかもしれない。

Ⅱ 平成29年度の対応状況について

1. FD・SDプログラムの充実

- (1) 各コア校で実施内容を標準化している新任教員研修プログラムの方法や発展の例として提案のあった、ワークショップのレクチャー部分を事前学習で行う「反転授業」について、徳島大学において平成29年度の新任教員研修「授業設計ワークショップ」での導入を試みた。研修実施後、その効果検証を行い、FD専門部会及びSPODネットワークコア運営協議会において各コア校にフィードバックを行った（具体的な効果検証結果は、3（1）に記載のとおり）。
- (2) CD（カリキュラム改善）のためのプログラムとして、今年度新たに「3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー；アセスメント・ポリシー）の開発と一貫性構築」を遠隔配信プログラムとして開講した。また、OD（組織の整備・改革）については、SPOD内講師派遣事業において設定している「SPOD課題発見コンサルテーション」の活用を今後促進していく予定である。
- (3) 「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）」において、課長、課長補佐相当級の職員を対象に、高等教育機関における戦略策定の手法を学ぶための「戦略マネジメント論」を開講した。管理職として必要な高等教育政策や制度に関する知識を学ぶとともに、政策策定や改善策の企画・提案を行うために必要な考え方及び手法を学ぶ場となった。来年度も組織マネジメントに関する内容を同研修で実施予定である。
- (4) SPODでは、SPOD－SDの取組の一つとして「職員のための講師養成講座」を開講し、SPOD内講師の養成に努めている。SPOD内講師が実際に講師を行う場合は、本講座や「次世代リーダー養成ゼミナール」の修了者等の中から本人の素養と研修の内容のマッチングを行いながらSD担当教職員が講師を選定した上で、研修の質保証のため、研修教材作成の支援や事前レクチャー等を行っている。さらに、各研修プログラム終了後には受講者アンケートを行い、次の研修に活かしている。こうしたPDCAサイクルを活用しながら、今後も研修プログラム及び講師の質向上に努めていく。
- (5) 今年度から新たに「次世代リーダー養成ゼミナール」のパンフレットを作成してSPODウェブサイト等で周知を行った。このように、各取組の概要をより分かりやすく伝えられるよう今後も工夫を重ねていく。
- (6) SPOD－SDプログラムの改善に向けた取組を行うため、多くの加盟校職員が参加する「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）」について、受講者アンケートに加え、過去5年間の同研修参加者所属校SD担当者に対してもアンケート調査を行った。この結果を踏まえて、研修の実施方法を見直し、レベルⅠ～Ⅲのいずれの研修についても、来年度はプログラム構成や講義時間を変更して実施する予定である。

2. SPOD事業に対する各加盟校（特に私立大学）の関わり

- (1) SPOD研修プログラム及び加盟校内講師派遣プログラムの活用状況を設置形態別、規模別に分析したところ、特に小規模校において研修受講率が高く、SPODがより多く活用されていることが分かった。小規模校では人員の都合上、単独で研修プログラムを開講することが難しいことがその理由として考えられる。中でも講師派遣プログラムは、各校のニーズに沿ったプログラムを提供できるため、加盟校からの評価も高く、継続的な実施が期待されている。

なお、会議の運営や研修プログラムの開講等を含めたSPOD運営は、規約等に基づきコア校を中心に進めているが、SPODの重要事項は、加盟校の代表者で構成されるSPOD総会で決定しており、県内加盟校会議やFD／SD分科会等の場を利用して加盟校のFD／SD担当者等と意見交換を行うことで、各加盟校のニーズや期待等を継続的に把握するよう努めている。

また、SPODフォーラムでは、開催県のコア校以外の加盟校職員も例年その運営に携わっている。今年度徳島大学で実施したSPODフォーラム2017では、参加スタッフへの事後アンケートにおいて、SPODフォーラムの運営を通して情報共有ができ、職員同士の新たなつながりができたことや、今後の業務の参考にできる点があった旨の意見が寄せられた。

その他、FDプログラムの実施にあたっては、阿南工業高等専門学校教員がティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップやSPOD内講師派遣プログラムの講師を担うなど、高専に特化した内容のみならず、様々なプログラムを提供し、SPOD事業に寄与している。

- (2) 今年度、SPOD設立から10年目を迎えるにあたり、各加盟校教職員が研修プログラムをより利用しやすくするため、加盟校からの意見も踏まえながら研修プログラムに関する情報提供方法の見直しをSPODネットワークコア運営協議会において行った。具体的には、次年度から、これまで研修プログラムガイドとSPODウェブサイトの両方に掲載していた各研修の詳細内容をSPODウェブサイトへの掲載のみに一本化し、ウェブサイトでの研修検索機能を強化させ、紙媒体の研修プログラムガイドはリーフレット化する予定である。
- (3) SPOD-SDCは、各種SD研修講師を担当するなど、SPODや自大学等におけるSD事業に大きく貢献している。今年度は新たに2名のSPOD-SDCを輩出し、これまでの資格認定者は合計19名となった。このうち、私立大学の資格認定者は昨年度認定した1名であるが、今後、さらに幅広い加盟校からのSPOD-SDCを輩出するために、今年度から次世代リーダー養成ゼミナールにおいて、SPOD-SDC資格認定基準の一つである「大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる」を満たすプログラム「人材育成ビジョン」を追加し、加盟校への開放を始めた。当該基準は、人事担当者等として職員人材育成ビジョンの構築に携わる経験をするなど等を満たすことができるが、その経験を有する者は限定的である。本プログラムを受講することで、効率的にその構築方法を身につけることが可能となるため、今後のさらなるSPOD-SDC輩出につながることが期待される。

3. 調査・研究の実質化

- (1) FD専門部会では、新任教員研修における反転授業の導入についての調査研究を行った。具体的には、徳島大学の新任教員研修「授業設計ワークショップ」において、今年度初めて、ワークショップのレクチャー部分を事前学習で行う反転授業形式を取り入れた。このことにより、研修初日の開始時刻を繰り下げるとともに、参加者に反転授業を実際に体験してもらうことができた。参加者のアンケート結果では、「反転授業を実施する際の留意点に気付くことができた」の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答者が94%に達しており、参加者自身が反転授業を体験することで反転授業の特徴（メリット・デメリット）を理解できたことが窺える。また、「反転授業形式で実施した方がよいと思う」の回答者が93%と肯定的であったことから、次年度も反転授業形式での実施を予定している。一方、反転授業のビデオ教材の長さや内容等に関する改善箇所も明らかになり、今後の課題として引き続き検討していくとともに、反転授業用のテキストを用いるなどしてさらなる改善を図る。
- (2) SD専門部会では、次世代リーダー養成ゼミナールにおいて各ゼミ生が行う「プロジェクト」の実践とその成果物の組織への導入構想に関して、愛媛大学職員（5期生）のプロジェクトを事例として、調査研究を行った。本研究については、「SD研修での職員によるプロジェクト実践とその成果物の組織への導入構想～SPOD-SD次世代リーダー養成ゼミナールのプロジェクト実践事例から～」と題して、9月に西南学院大学（福岡県）で開催された大学行政管理学会において研究発表を行った。
- (3) SPOD事業の推進にあたっては、今後も各加盟校のニーズや期待等を継続的に把握し、対応を進めていく必要がある。これらを実現するため、加盟校との連携協力を主な目的とした県内会議を、今年度は徳島県で12月に実施した。また、加盟校の代表者で構成するSPOD総会と、加盟校のFD・SD各担当者が参加するFD/SD分科会を、3月に愛媛大学で開催し、事業の進捗状況や成果及び要望について意見交換を行う予定である。さらに、今年度は、上述の1（6）及び2（2）のように、「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）」や「研修プログラムガイド」の見直しに際して各加盟校への調査を行った。今後も、このように各加盟校の意見を踏まえながらSPOD事業を推進していく予定である。

4. SPOD事業評価の在り方

SPOD将来構想の中長期的方針を実現していくため、今年度からSPOD事業評価委員会の在り方の見直しを行った。これまで行っていた実績報告書等に基づく評価にとどまらず、各委員がより深くSPOD事業について把握できるよう、SPOD事業視察の場を提供することとした。この見直しに基づき、2年間の委員任期の1年目にあたる今年度は、SPODフォーラムの視察や活動報告書等をもとに、各委員の立場から書面で意見をいただき、2年目にあたる次年度に、視察等を踏まえた対面による事業評価を行い、今後の事業推進に役立てていく予定である。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の役員の改選について（案）

平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の実施にあたって、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（以下「規約」という。）第8条第1項、第3項、第5項、第7項及び第10項に基づき、高知大学長改選に伴い、平成30年度副会長（高知大学長）の改選を行う。任期については、前任者の残任期間である平成31年3月31日までとする。

副会長（規約第8条第1項、第3項、第5項、第7項及び第10項関係）

高知大学 櫻井 克年 次期学長（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

高知大学 脇口 宏 学長 （平成29年4月1日～平成30年3月31日）

【参考】「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（代表校）

第7条 コア校※のうち、1校をSPODの代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPODを代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

（事務局）

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

※コア校とは、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学を指す。

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会，
SPOD設立10周年記念講演会及びFD／SD分科会 実施要項

- 主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）
 日 時：平成30年3月29日（木） 13：00～16：30
 場 所：（総会及びSPOD設立10周年記念講演会）愛媛大学城北キャンパス
 総合情報メディアセンター1階 メディアホール
 （FD／SD分科会）愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ内会場
 出 席 者：（総会）加盟校各大学長，短期大学長，高等専門学校長等
 （FD／SD分科会）加盟校 FD／SD担当者等

1. 総 会

- 13：00 開会挨拶 SPOD会長：愛媛大学長
 13：05 平成29年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の
 実施状況について（25分）
 13：30 平成30年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の
 運営について（30分）
 14：00 質疑応答（25分）
 14：25 閉 会

2. SPOD設立10周年記念講演会

- 14：30 開会挨拶，趣旨説明及び講師紹介
 14：35 SPOD設立10周年記念講演
 「（仮）SPODの活用及び今後のSPODに期待すること」
 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部 学長 ホビノ・サンミゲル 氏
 15：00 閉 会

3. FD／SD分科会 ※FD分科会及びSD分科会を2箇所で開催

- 15：30 各加盟校での取り組み状況の報告
 今後の具体的な事業の進め方について
 意見交換 など
 16：30 閉 会

平成29年12月31日現在

日 程	プログラム名	開催大学	受講者数			内訳人数			参加校数		満足度 %	定員 人	
			対面	遠隔	計	教員	職員	その他	対面	遠隔			
4月													
4月6日(木)	会議マネジメント ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	12	0	12	10	0	2	2	0	100	30	
4月6日(木)	学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	5	0	5	5	0	0	2	0	100	30	
4月6日(木)	クラスルームコントロール＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	5	0	5	5	0	0	2	0	100	30	
4月7日(金)	大学授業入門	高知大学	9	0	9	9	0	0	1	0	100	40	
5月													
5月10日(水)～12日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回【新任職員研修】	愛媛大学	72	0	72	0	72	0	11	0	100	80	
5月11日(木)	効果的なグループワークの進め方 ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	15	0	15	13	0	2	2	0	93.3	40	
5月11日(木)	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計－課題分析図の活用－ ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	8	0	8	8	0	0	2	0	100	24	
5月18日(木)	効果的なeラーニング活用方法(超入門編) ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	8	0	8	8	0	0	1	0	100	24	
5月18日(木)	アクティブラーニング入門セミナー ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	15	24	39	34	3	2	1	3	100	40	
5月19日(金)	学習評価の基本 ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	18	0	18	17	0	1	3	0	100	40	
6月													
6月1日(木)～3日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学	11	0	11	0	11	0	8	0	－	11	
6月2日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「高等教育論」	愛媛大学	3	0	3	0	3	0	1	0	－	3	
6月3日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「SD論」	愛媛大学	4	0	4	0	4	0	4	0	－	4	
6月17日(土)～18日(日)	授業設計ワークショップ	徳島大学	15	0	15	15	0	0	3	0	86.7	30	
6月29日(木)～30日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	34	0	34	0	34	0	13	0	97	30	
7月													
7月1日(土)～2日(日)	授業デザインワークショップ(28回)	愛媛大学	10	0	10	10	0	0	4	0	100	20	
7月15日(土)～16日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	7	0	7	6	1	0	1	0	100	10	
7月20日(木)～22日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	高知大学	11	0	11	0	11	0	8	0	－	11	
7月20日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)模擬講義「SD実践Ⅱ」	高知大学	11	0	11	0	11	0	3	0	100	11	
7月21日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)開放講義「大学のガバナンスとマネジメント」	高知大学	15	0	15	0	15	0	2	0	－	15	
7月22日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)開放講義「高等教育政策論」	高知大学	5	0	5	0	5	0	2	0	－	5	
8月													
8月10日(木)	プロジェクトマネジメント ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	12	0	12	10	1	1	3	0	100	30	
8月21日(月)	講義のための話し方入門 ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	17	0	17	14	3	0	4	0	100	40	
8月23日(水)～25日(金)	SPODフォーラム2017	徳島大学	1428	0	1428	714	706	8	97(うち加盟校18)	0	97	1911	
8月29日(火)～30日(水)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	14	0	14	14	0	0	3	0	100	40	
8月31日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン－考え方と進め方－	高知大学	4	0	4	4	0	0	2	0	100	30	
8月30日(水)～9月1日(金)	授業デザインワークショップ(29回)	愛媛大学	21	0	21	21	0	0	5	0	100	30	
8月30日(水)～9月1日(金)	職員のための講師養成講座	愛媛大学	5	0	5	0	5	0	4	0	100	15	
9月													
9月5日(火)	大人数講義法～良い授業づくりのコツ～	高知大学	4	0	4	4	0	0	2	0	100	20	
9月5日(火)	メンタルヘルス研修会－ストレスマネジメントおよびアンガーマネジメントの基礎知識－	高知大学	17	0	17	2	15	0	2	0	100	30	
9月6日(水)	はじめてみよう！アクティブ・ラーニング	高知大学	6	0	6	4	2	0	3	0	100	40	
9月6日(水)	グループワークの技法	高知大学	4	0	4	4	0	0	3	0	100	30	
9月6日(水)－9月8日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	徳島大学	2	0	2	2	0	0	2	0	100	8	
9月11日(月)	大人数講義法の基本 ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	0	21	21	18	3	0	0	2	95.2	21	
9月11日(月)	3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー、アセスメント・ポリシー)の開発と一貫	愛媛大学	0	45	45	28	17	0	0	4	93.2	45	
9月12日(火)	ジグソー学習法入門＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	愛媛大学	10	0	10	10	0	0	3	0	100	20	
9月12日(火)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門－ARCS動機づけモデルの活用－	愛媛大学	9	0	9	9	0	0	2	0	100	24	
9月14日(木)	eラーニング活用(入門編)－学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう－ ＜夏期FD・SDスキ	愛媛大学	24	0	24	18	3	3	2	0	87.5	40	
9月14日(木)	問題発見・解決の技法	愛媛大学	26	0	26	0	26	0	7	0	92	30	
9月14日(木)～15日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	19	0	19	19	0	0	7	0	100	20	
9月15日(金)～17日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ＜高専対象＞	愛媛大学	7	0	7	7	0	0	2	0	100	10	
9月15日(金)～17日(日)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	1	0	1	1	0	0	1	0	100	5	
9月20日(水)～21日(木)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	20	0	20	0	20	0	7	0	100	30	
9月25日(月)	大人数講義をもっとうまくやるためのコツ	香川大学	6	0	6	5	1	0	2	0	100	50	
9月25日(月)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・話し合いの技法編－	香川大学	10	0	10	7	3	0	3	0	100	50	
9月26日(火)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・教え合いの技法編－	香川大学	6	0	6	3	3	0	2	0	100	50	
9月26日(火)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・問題解決の技法編－	香川大学	8	0	8	4	4	0	2	0	100	50	
9月27日(水)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・図解の技法編－	香川大学	7	0	7	3	4	0	2	0	100	50	
9月27日(水)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・文章作成の技法編－	香川大学	6	0	6	2	4	0	2	0	100	50	
9月27日(水)	初心者のためのクリッカー講座	香川大学	2	0	2	2	0	0	1	0	100	20	
9月27日(水)	TA講習	高知大学	13	0	13	0	0	13	1	0	92.3	13	
9月28日(木)～29日(金)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	25	0	25	0	0	25	1	0	100	36	

日 程	プログラム名	開催大学	受講者数			内訳人数			参加校数		満足度 %	定員 人	
			対面	遠隔	計	教員	職員	その他	対面	遠隔			
10月													
10月26日(木)～28日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	香川大学	11	0	11	0	11	0	8	0	-	11	
10月27日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)開放講義「人材育成ビジョン」	香川大学	5	0	5	0	5	0	4	0	-	5	
10月28日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)開放講義「教育関係法規」	香川大学	8	0	8	0	8	0	5	0	-	8	
11月													
11月9日(木)～10日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	愛媛大学	45	0	45	0	45	0	12	0	97.8	40	
11月17日(金)～19日(日)	IRer養成講座	愛媛大学	30	0	30	15	15	0	25	0	100	40	
12月													
12月9日(土)～10日(日)	スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	5	0	5	0	5	0	5	0	-	16	
12月14日(木)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学										24	
12月25日(月)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	5	0	5	5	0	0	2	0	100	50	
12月25日(月)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	5	0	5	5	0	0	2	0	100	50	
12月25日(月)	学生参加型授業の技法	香川大学	6	0	6	6	0	0	2	0	100	50	
1月													
1月5日(金)	大学教育カンファレンス in 徳島	徳島大学										なし	
1月12日(金)	シラバス・授業を改善しよう！	香川大学										50	
1月18日(木)～19日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	愛媛大学										11	
1月24日(水)	シラバスブラッシュアップワークショップ	高知大学										30	
2月													
2月19日(月)	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ	愛媛大学										40	
3月													
3月1日(木)	「アカデミック・スキル」をどう教えるか	香川大学										50	
3月2日(金)	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学										なし	
3月6日(火)	「日本語技法」をどう教えるか	香川大学										50	
3月27日(火)	新任教員のためのリフレクションセミナー	高知大学										30	
3月27日(火)	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学										30	
3月30日(金)	TA講習	高知大学										なし	
講師派遣													
4月21日(金)	現代学生の理解と関わり方	徳島工業短期大学	24	0	24	18	6	0	2	0	95.7	24	
5月30日(火)	アクティブラーニング実践(試験紙法)	新居浜工業高等専門学校	47	0	47	47	0	0	1	0	90.7	47	
5月30日(火)	現代学生の理解と関わり方	香川短期大学	48	0	48	36	12	0	1	0	97.5	48	
6月1日(木)	職員のための経験学習	今治明德短期大学	25	0	25	15	10	0	1	0	100	25	
6月6日(火)	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り	高知学園短期大学	45	0	45	40	5	0	1	0	100	45	
6月8日(木)	高専における学生クライシスとの対峙	弓削商船高等専門学校	37	0	37	37	0	0	1	0	83.7	37	
6月8日(木)	現代学生の理解と関わり方	松山大学・松山短期大学	69	0	69	68	1	0	2	0	74	69	
6月13日(火)	アクティブラーニング実践(試験紙法)	阿南工業高等専門学校	9	0	9	9	0	0	1	0	100	9	
6月29日(木)	現代学生の理解と関わり方	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	68	0	68	38	30	0	1	0	98.3	68	
7月28日(金)	大学職員に必要な能力と専門性	香川大学	21	0	21	0	21	0	3	0	94.4	20	
9月4日(月)	アクティブ・ラーニング入門	愛媛大学	7	0	7	7	0	0	2	0	100	36	
9月4日(月)	大学職員に必要な能力と専門性	香川県立保健医療大学	32	0	32	26	6	0	1	0	96.4	32	
9月5日(火)	アクティブラーニング実践(試験紙法)	高知工業高等専門学校	21	0	21	21	0	0	1	0	100	40	
9月5日(火)	大学教職員のための危機管理	四国大学・四国大学短期大学部	101	0	101	49	51	1	2	0	100	101	
9月11日(月)	大学職員に必要な能力と専門性	高松大学・高松短期大学	24	0	24	1	23	0	1	0	100	24	
9月11日(月)	チームビルディング	高知県立大学・高知短期大学・高知工科大学	20	0	20	0	20	0	1	0	100	20	
9月12日(火)	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り	環太平洋大学短期大学部	16	0	16	10	6	0	1	0	100	16	
9月13日(水)	現代学生の理解と関わり方	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	46	28	74	51	23	0	5	0	97.4	74	
10月25日(水)	教学IR入門	高知大学	27	0	27	9	18	0	3	0	100	27	
12月25日(月)	授業アンケートを見直しませんか？～アンケートの効果的实施と活用方法～	愛媛県立医療技術大学	36	0	36	34	2	0	1	0	94.1	36	
2月22日(木)	大学教職員のための危機管理	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部											
3月9日(金)	大人数講義を魅力的にするテクニック	徳島大学											
合 計			2,869	118	2,987	1,616	1,313	58	253	9	98	4,749	

平成29年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧(案) 2017.12.31現在

【上位目的】学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった
「高等教育のプロフェッショナル」を四国から輩出する

【目的】四国地区の大学及び高等専門学校の連携・協働により、
地区内のFD/SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図る

1. SPOD共通事業

1-1)SPODフォーラムの実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	5	100
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	3 1	92 93
③参加校数(実数)	3	86
④満足度	5	98

1-2)SPOD内講師派遣の実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	5	91
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	5 1	104 117
③参加校数(延べ・実数)	5 5	100 100
④満足度	5	100

(実施予定2)

- 1-3)FD・SDに関する調査・研究
1-4)SPOD将来構想ワーキンググループ
1-5)情報提供サービス
- ・研修プログラムガイドの発行
 - ・SPOD活動報告書の発行
 - ・SPODホームページの管理・更新
 - ・メールマガジンの発行

SPODホームページ	達成度 (5段階)	前年度比(%)
トップページ閲覧数	2	77
PDF資料等ダウンロード数	5	100

※H29.4.1～H29.12.31の数値

2. FD事業

2-1)FD担当者研修の実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	5	100
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	5 1	273 27
③参加校数(延べ・実数)	1 1	17 17
④満足度	5	95

※SPODフォーラムで実施

2-2)新任教員研修の実施・公開	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	5	100
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	1 1	116 109
③参加校数(延べ・実数)	5 2	105 100
④満足度	5	100

2-3)ティーチング・ポートフォリオ 作成WSの実施・公開	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	5	100
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	1 1	89 100
③参加校数(延べ・実数)	1 1	55 50
④満足度	5	100

2-4)各種FDプログラムの開発・ 実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	3	79
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	1 1	58 58
③参加校数(延べ・実数)	5 1	100 76
④満足度	5	99

(開催中止1,実施予定10)

3. SD事業

3-1)大学人・社会人としての基礎 力養成プログラムの実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	5	100
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	5 1	127 104
③参加校数(延べ・実数)	5 3	100 89
④満足度	5	100

3-2)次世代リーダー養成ゼミ ナールの実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	3	75
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	4 1	88 63
③参加校数(延べ・実数)	5 1	100 118
④満足度	1	0

※アンケートは2期目最終回に実施。(実施予定1/18-19第4回)

3-3)職員のための講師養成講座 の実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	5	200
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	1 1	111 56
③参加校数(延べ・実数)	1 1	80 80
④満足度	5	100

3-4)各種SDプログラムの開発・ 実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数	5	未実施
②参加者数(定員・加盟校教職員数)	4 1	
③参加校数(延べ・実数)	1 1	
④満足度	5	

3-5)SPOD-SDCの輩出 新規認定者数	達成度 (5段階)	前年度比(%)
	5	100

※認定者 合計19名(H29.12.31時点)

4. SPOD運営

4-1)各種会議の実施

- ・総会
- ・ネットワークコア運営協議会
- ・事業評価委員会
- ・監査
- ・その他 FD/SD分科会
SPOD加盟校県内会議

(表の見方) ※詳細な数値は別紙参照

番号	目標値	実績	単位	達成度 (5段階)	達成率 (%)	前年度比 (%)
①	実施予定プログラム数	実施プログラム数	件			
②	プログラム 定員数 加盟校教 職員数※1	参加者数(延べ数)	人	達成率 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	実績 目標値	H29年度 達成率 H28年度 達成率
③	SPOD加盟校数	参加校数(延べ数) “(実数)”	法人			
④	満足度目 標準	事後アンケート満足 度	%			

※1:平成29年度学校基本調査(H29.5.1現在)の常勤教職員

1. SPOD共通事業

1-1)SPODフォーラムの実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	40	40	5	100	38	38	5	100
②参加者数(定員数)	1911	1428	3	75	1799	1469	4	82
〃(加盟校教職員数)	6918	530	1	8	6949	571	1	8
③参加校数(延べ数)	24	18	3	75	24	21	4	88
〃(実数)	100	97	5	97	100	99	5	99
④満足度	100	97	5	97	100	99	5	99

(参考:加盟校外898(内数))
(参考:加盟校外898(外数))
(参考:加盟校外79(外数))

1-2)SPOD内講師派遣の実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	22	20	5	91	22	22	5	100
②参加者数(定員数)	798	751	5	94	676	613	5	91
〃(加盟校教職員数)	6918	715	1	10	6949	613	1	9
③参加校数(延べ数)	24	32	5	100	24	30	5	100
〃(実数)	100	96	5	96	100	96	5	96
④満足度	100	96	5	96	100	96	5	96

(実施予定2)

SPODホームページ					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
トップページ閲覧数	70,000	45,743	2	65	70,000	59,440	4	85
PDF資料等ダウンロード数	7,000	7,090	5	100	7,000	8,477	5	100

※H29.4.1～H29.12.31の数値 ※H28.4.1～H29.3.31の数値

3. SD事業

3-1)大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	4	4	5	100	5	5	5	100
②参加者数(定員数)	180	171	5	95	220	165	3	75
〃(加盟校教職員数)	2341	171	1	7	2353	165	1	7
③参加校数(延べ数)	24	43	5	100	24	45	5	100
〃(実数)	100	99	5	99	100	99	5	99

3-2)次世代リーダー養成ゼミナールの実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	4	3	3	75	4	4	5	100
②参加者数(定員数)	95	84	4	88	120	163	5	100
〃(加盟校教職員数)	2341	84	1	4	2353	134	1	6
③参加校数(延べ数)	24	45	5	100	24	50	5	100
〃(実数)	100	13	1	54	100	11	1	46
④満足度 [※]	100	100	5	100	100	100	5	100

※アンケートは2期目最終回に実施

3-3)職員のための講師養成講座の実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	1	1	5	100	2	1	1	50
②参加者数(定員数)	15	5	1	33	30	9	1	30
〃(加盟校教職員数)	2341	5	1	0	2353	9	1	0
③参加校数(延べ数)	24	4	1	17	24	5	1	21
〃(実数)	100	4	1	17	100	5	1	21
④満足度	100	100	5	100	100	100	5	100

3-4)各種SDプログラムの開発・実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	1	1	5	100				
②参加者数(定員数)	30	26	4	87				
〃(加盟校教職員数)	2341	26	1	1				
③参加校数(延べ数)	24	7	1	29				
〃(実数)	100	7	1	29				
④満足度	100	92	5	92				

未実施

3-5)SPOD-SDCの輩出					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
新規認定者数	2	2	5	100	2	4	5	100

※認定者 合計19名 (H29.12.31時点)

2. FD事業

2-1)FD担当者研修の実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	1	1	5	100	1	1	5	100
②参加者数(定員数)	20	20	5	100	30	11	1	37
〃(加盟校教職員数)	4577	3	1	0	4596	11	1	0
③参加校数(延べ数)	24	1	1	4	24	6	1	25
〃(実数)	100	1	1	4	100	6	1	25
④満足度	100	95	5	95	100	100	5	100

(参考:加盟校外17(内数))
(参考:加盟校外17(外数))
(参考:加盟校外10(外数))

2-2)新任教員研修の実施・公開					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	5	5	5	100	5	5	5	100
②参加者数(定員数)	140	79	1	56	150	73	1	49
〃(加盟校教職員数)	4577	79	1	2	4596	73	1	2
③参加校数(延べ数)	24	22	5	92	24	21	4	88
〃(実数)	100	16	2	67	100	16	2	67
④満足度	100	97	5	97	100	97	5	97

2-3)ティーチング・ポートフォリオ作成WSの公開・実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	4	4	5	100	5	5	5	100
②参加者数(定員数)	33	17	1	52	43	25	1	58
〃(加盟校教職員数)	4577	17	1	0	4596	24	1	1
③参加校数(延べ数)	24	6	1	25	24	11	1	46
〃(実数)	100	4	1	17	100	8	1	33
④満足度	100	100	5	100	100	100	5	100

2-4)各種FDプログラムの開発・実施					参考:平成28年度			
指標	目標値	平成29年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	平成28年度実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率(%)
①プログラム数	44	33	3	75	42	40	5	95
②参加者数(定員数)	1441	391	1	27	1479	690	1	47
〃(加盟校教職員数)	4577	391	1	9	4596	676	1	15
③参加校数(延べ数)	24	71	5	100	24	90	5	100
〃(実数)	100	13	1	54	100	17	3	71
④満足度	100	97	5	97	100	98	5	98

(表の見方)

番号	目標値	実績	単位	達成度(5段階)	達成率(%)	前年度比(%)
①	実施予定プログラム数	実施プログラム数	件			
②	プログラム定員数	参加者数(延べ数)	人	達成率 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	実績 目標値	H29年度 達成率 H28年度 達成率
③	SPOD加盟校数	参加校数(延べ数) 〃(実数)	法人			
④	満足度目標率	事後アンケート満足度	%			

※1:平成29年度学校基本調査(H29.5.1現在)の常勤教職員

はじめに

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（ネットワーク略称：SPOD）は、四国内のFD・SD事業の効率化・高度化・実質化を行うことにより、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質向上に資することを目的として、平成20年度に設立された。設立から10年目を迎える今年度は、平成21年度から毎年発行している「研修プログラムガイド」及びSPODウェブサイト、加盟校教職員にとってより利用しやすいものとなるよう見直しを行った。また、「SPOD設立10周年記念講演会」を総会と併せて3月に実施予定である。以下、事業計画の項目に沿って、それぞれの達成状況を概観していく。

（1）SPOD共通事業

① SPODフォーラム

あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供することを目的として、8月に徳島大学において「SPODフォーラム2017」を開催した。今年度で9回目の開催となる本フォーラムでは、全体テーマ「Feeling と Thinking を Learning につなげる」のもと、3日間で全40講座を開講した（ポスターセッションを除く）。全体テーマに関連したプログラムはもちろんのこと、過去のアンケートで寄せられた参加者からの要望や時代のニーズ等を踏まえ、多種多様なプログラムを提供した。

シンポジウムでは、「学生が感じ、考え、それを学びにつなげる教育と学習支援」をテーマに講演及びパネルディスカッションを行い、全国から250名の教職員が参加した。講演では、「学生が感じ、考えた時、教職員はいかに支援できるのか」について、（1）どのような取組、教育、支援ができるのか、（2）そのためには教職員はどのような能力や心がけが必要なのか、（3）その能力を開発するにはどのような方法が考えられるのか、といった3つの論点について、シンポジスト3名それぞれの立場から事例発表が行われた。その後のパネルディスカッションでは、シンポジスト及び指定討論者が参加者からの質問に答えながら議論を交わし、フロア全体でテーマに関する現状と課題を共有した。参加者からは、「教員の立場と事務職員の両立場からテーマに関する知見を得られた点が非常に大きかった」「様々な経験、バックグラウンドを持った講師から一つのテーマについて深めていただき、多くの示唆となった」等のコメントがあった。シンポジウムの講演記録は●～●ページに掲載している。

トップリーダーセミナーは、「教育改革戦略の多様化と自大学文脈の可視化に向けた組織開発—ストーリーテリングの視点を交えて—」と題してワークも交えながら実施した。本セミナーは、大学等の経営管理を担うために必要な情報を収集し、トップリーダーとしての能力を高めることを目的としている。受講者からは、「ストーリーテリングという手法を初めて体験し、非常に理解が深まる手法で効果的だと感じた」等のコメントがあった。

また、初日の夕方には今回で3回目となるポスターセッションを実施し、加盟校内外から24組（うち加盟校（代表発表者の所属）11、加盟校外13）の取組発表があった。参加者からは、「ポスターセッションにおける発表や意見交換も非常に有意義だった」とのコメントがあるなど、参加者間の情報交換の場としても大いに活用された。

徳島大学での開催は、平成24年度（SPODフォーラム2012）に実施して以来2回目で、全国から405名（延べ1,428名）の参加があった。近年は加盟校外からの参加者も増えており、今年度は加盟校が6割弱、加盟校外が4割強の参加であった。徳島県内加盟校をはじめとして、加盟校外では関西方面からの参加者が多かった。フォーラム終了3週間後からWeb回答形式で実施したアンケートでは、回答者の約97%から「満足」の評価を得るとともに、約83%から「フォーラムで得た知識やスキルを活用している」と回答があった。また、事後アンケートでは「SPODフォーラムへの要望」についても同時に調査しており、アンケート結果及び参加者からの要望、要望に対する対応については●～●ページに掲載している。

開催校の徳島大学とSPOD事務局（愛媛大学）が連携して準備・運営を行い、また、当日は徳島県内各加盟校及び次年度開催校の香川大学から、多くの職員が運営スタッフとして実施に携わった。設置形態を超えた連携協力により、円滑に実施されたとともに、人事交流の場としても活用された。

② SPOD内講師派遣

加盟校単位（1法人に複数大学・短期大学・短期大学部が併設されている場合は1法人あたり1回）で希望するプログラムについて、SPODから講師を年1回派遣するSPOD内講師派遣事業を実施し、ネットワークコア校（以下「コア校」という）及び阿南工業高等専門学校に所属する講師12名を22機関に派遣した。うち1機関は遠隔テレビ会議システムを用いて、開催校の他キャンパスへ遠隔配信を行いながら実施した。本事業によって、FDセンターやFD担当専任教員の配置が困難な小規模校においても、自大学において各種研修プログラムの開講が可能となっている。プログラム決定にあたっては、各加盟校におけるFD・SD活動等の方針に沿って活用されるよう、希望プログラムを選択した経緯や今後の各校のFD・SD活動の見通し、研修の目的や目標等について調査を行い、各校への派遣プログラムを決定した。

本事業は加盟校からの評価も高く、組織等に与える影響も大きいと考えられることから、同事業を継続的に実施できるよう、今後も引き続き講師養成を進めるとともに、特定の講師に負担が集中することがないように、各県に担当講師を置くなどして進めていく。

また、開催校以外の加盟校教職員が近隣の加盟校で実施する講師派遣プログラムに参加する例も各県で見受けられ、特に四国大学・四国大学短期大学部と徳島工業短期大学では、お互いの講師派遣プログラムに例年数名ずつ相互参加するなどして加盟校間での活用も見られる。

今後も各加盟校の組織背景やFD・SD活動の状況等を把握し、加盟校の実情に即したプログラムを提供できるよう取り組んでいく。

③ FD・SDに関する調査研究

FD専門部会では、新任教員研修における反転授業の導入について調査研究を行った。具体的には、徳島大学の新任教員研修「授業設計ワークショップ」において、今年度初めて、ワークショップのレクチャー部分を事前学習で行う反転授業形式を取り入れた。このことにより、研修初日の開始時刻を繰り下げるとともに、参加者に反転授業を実際に体験してもらうことができた。参加者のアンケート結果では、「反転授業を実施する際の留意点に気付くことができた」の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答者が94%に達しており、参加者自身が反転授業を体験することで反転授業の特徴（メリット・デメリット）を理解できたことが窺える。また、「反転授業形式で実施した方がよいと思う」の回答者が93%と肯定的であったことから、次年度も反転授業形式での実施を予定している。一方、反転授業のビデオ教材の長さや内容等に関する改善箇所も明らかになり、今後の課題として引き続き検討していくとともに、反転授業用のテキストを用いるなどしてさらなる改善を図る。「授業設計ワークショップ」のアンケート結果は、●～●ページに掲載している。

SD専門部会では、次世代リーダー養成ゼミナールにおいて各ゼミ生が行う「プロジェクト^{※1}」の実践とその成果物の組織への導入構想に関して、愛媛大学職員（5期生）のプロジェクトを事例として、調査研究を行った。本研究については、「SD研修での職員によるプロジェクト実践とその成果物の組織への導入構想～SPOD－SD次世代リーダー養成ゼミナールのプロジェクト実践事例から～」と題して、9月に西南学院大学（福岡県）で開催された大学行政管理学会において研究発表を行った。大学行政管理学会で発表した研究内容は●～●ページに掲載している。

※1：同プログラムは「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3本柱で構成されており、内「プロジェクト」は、多様化する大学等において直面する課題に対し、自大学のミッションを踏まえ、講義や実践・演習で培った知識・スキル・態度を活用し「大学の構成員を巻き込むイノベーション」を企画・立案・実施・報告するものである。

④ SPOD将来構想

平成28年3月の総会で承認された「SPODの将来構想」(●～●ページ参照)に基づき、SPOD事業を実施した。特に今年度は、長期的方針の「持続可能なSPODの組織体制を構築する」に掲げる「安定的な財政基盤を維持する」ため、昨年の総会で承認された、SPOD加盟校以外の教職員から徴収する研修料を改定するとともに、SPODのSD業務及びSPOD運営を担う人員の人件費の一部をSPOD経費から支出した。さらに、今年度は、研修プログラムガイド及びSPODウェブサイトについて、加盟校からの意見も踏まえながら、ネットワークコア運営協議会(以下「コア運営協議会」という)において見直しの検討を行った。検討の結果、次年度以降はウェブサイトの検索機能を強化させた上で、プログラムガイドをリーフレット化し、印刷経費等を削減する見込みである。

⑤ 情報提供サービス

SPODでは、活動内容やその成果の周知のため「研修プログラムガイド」「活動報告書」「ホームページ更新・管理、メールマガジンの発行」等を中心に情報提供を行っている。今年度は、SPOD設立から10年目を迎え、研修プログラムガイド及びウェブサイトの活用方法について見直しを行った。以下に各項目に沿って詳細を記載する。

1) 研修プログラムガイド2017の発行

加盟校内で開催され、かつ加盟校教職員が相互に参加可能なFD・SDプログラムを網羅的に掲載した「研修プログラムガイド2017」を作成し、加盟校の全教職員(約7,000名)に配付した。これにより、各加盟校の教職員は自分の希望するプログラムに計画的に参加することができ、●月末までに延べ●名以上の参加があった。また、ネットワーク内では遠隔テレビ会議システムを活用したプログラムを3講座、eラーニング配信によるプログラムを1講座配信し、当日対面の研修会場へ足を運べない人も遠隔会場やインターネット上で受講できるため、多くの教職員の参加があった。

2) 平成29年度SPOD活動報告書の発行

今年度行ったSPOD事業の活動をまとめた本冊子「平成29年度SPOD活動報告書」を作成し、関係各機関に配付するとともにホームページに公開予定である。なお、ネットワーク規約第11条に基づき、本活動報告書を基に、SPOD事業評価委員による事業評価を行う予定である。

3) ホームページ更新・管理、メールマガジンの発行

SPODホームページで、SPODフォーラムを始めとした各種プログラムの開催情報や研修資料、会議の議事概要や資料等を掲載した。また、研修等のイベントや高等教育に関する情報発信を行うSPODメールマガジンを、月1回程度約300名(全加盟校SPOD事務担当者を含む)の登録者に向けて情報発信を行った。このほか、加盟校からもイベント等の開催案内があり、加盟校内において情報共有するなど、ネットワークを活かした情報発信を行っている。

4) その他

今年度、SPOD設立から10年目を迎えるにあたり、研修プログラムガイド及びSPODウェブサイトを加盟校教職員がより利用しやすくするため、加盟校からの意見も踏まえながら、コア運営協議会において見直しの検討を行った。具体的には、次年度から、これまでプログラムガイドとウェブサイト両方に掲載していた各研修の詳細内容をSPODウェブサイトへの掲載のみに一本化し、ウェブサイトでの研修検索機能を強化させ、紙媒体の研修プログラムガイドはリーフレット化する予定である。

また、前述③(●～●ページ参照)のとおり、FD・SDに関する調査研究について、大学行政管理学会等で研究成果の発表を行ったり、教育学術新聞(発行元:日本私立大学協会)に「SPODフォーラム2017」の記事が掲載されたりするなど、全国の高等教育機関へ向けた情報発信も行った。

(2) FD事業

① FD担当者研修の実施・公開

FDを企画・運営・評価するために必要となる基礎的な知識と技能の習得を目的として、「FD担当者研修」を実施した。今年度は、当該プログラムをSPODフォーラム2017のプログラムとして徳島大学で実施し、全国から20名（うち加盟校3名）の教職員が参加した。受講者からは、「具体的に実施要項、計画書を作成する点が良かった」などの意見があり、各大学におけるFD担当者の養成支援を充実させることができた。FD担当者研修は、来年度も引き続きSPODフォーラムのプログラムとして香川大学で実施する予定である。

② 新任教員研修の実施・公開

コア校では、どのコア校が主催する新任教員研修を受講しても同様の効果を得られるよう、プログラムを標準化している。各コア校で実施した新任教員研修には、加盟校16校から79名（国立大学5校55名、公立大学3校5名、私立大学・短期大学6校17名、高等専門学校2校2名）の教員が参加し、アンケート回答者の約97%から「満足」という回答を得た。

標準化された本プログラムは、授業設計やシラバスの作成方法について主にグループワーク形式で学ぶものであり、受講者からは「模擬授業を経験し、自分では気づかなかった点についてアドバイスをいただけたので、その点をぜひ改善したい」「反転授業やアクティブ・ラーニングなど、概念でしか知らなかったことが、今回具体例を通して理解でき、自分の授業への取り入れのハードルが下がった」「シラバスの書き方について体系的に学ぶことができた」等のコメントがあった。また、本プログラムは新任教員以外にも受講が可能であり、自身の授業を見直すきっかけになるとともに授業改善に役立つ内容となっている。

また、今年度初めての取組として、徳島大学の新任教員研修「授業設計ワークショップ」で、ワークショップのレクチャー部分をビデオ教材等による事前学習とし、反転授業形式で実施した。このことにより、研修初日の開始時刻を繰り下げるとともに、参加者に反転授業を実際に体験してもらうことができた。参加者のアンケート結果では、「反転授業を実施する際の留意点に気付くことができた」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答者が94%に達しており、参加者自身が反転授業を体験することで反転授業の特徴（メリット・デメリット）を理解できたことが窺える。また、「反転授業形式で実施した方がよいと思う」の回答者が93%であったことから、次年度もテキスト等を用いて反転授業形式での実施を予定している。「授業設計ワークショップ」のアンケート結果は、●～●ページに掲載している。

③ ティーチング・ポートフォリオ研修の実施・公開

愛媛大学及び徳島大学で「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」を7月、9月に開催し、加盟校4校から16名（国立大学2校13名、私立大学・短期大学1校1名、高等専門学校1校2名）が参加した。受講後のアンケートでは、「教育の理念や戦略、方法などを再確認することができた。作成したポートフォリオは、例えば、今後何らかのポジションに応募する際に振り返る材料になると思う」「他の業務に邪魔されることなく、これまでの教育業務の内容を改めて客観的に見つめ直す機会が得られたことは、とても有益であった。また、大学教育の在り方についての自分の考えを可視化できたことは、自信にも繋がった」等のコメントがあり好評だった。本研修では、今後のワークショップで必要となるメンターの育成も目的の一つとしており、受講者のメンタリングスキルの修得のためのプログラムも兼ねている。また、9月には愛媛大学で「アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ」も開催し、加盟校1校から1名（高等専門学校）が参加した。

④ 各種FDプログラムの開発・実施

過去のアンケート結果や教育現場の課題を踏まえ、アクティブ・ラーニングやIR、シラバス作成法、講義法、学習評価等多岐にわたるプログラムを開講した。

新規プログラムとして、高知大学では「新任教員のためのリフレクションセミナー」を3月に実施予定で、新任教員が1年間授業を経験してみてもの振り返りを行い、次年度の授業に向けたアクションプランを作成する内容となっている。また、愛媛大学が新規に実施した遠隔配信プログラム「3つのポリシーの開発と一貫性構築手法」では、本講座の受講をきっかけに、今治明德短期大学では自学の3つのポリシーを見直し、教職員全員の意識改革に繋がるなど、組織への波及効果が見られた。（取組報告●ページ参照）

(3) SD事業

① SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

今年度開催された「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ～Ⅲ）」の研修では、合計171名の職員が参加した。その中でも、四国地区の国公立大学等の新任教員が集まる新任教員研修（5月開催のレベルⅠ研修）は、四国4県が持ち回りで開催している、全国的にも例を見ない研修となっている。本研修は、大学職員に求められる基礎知識を習得すると共に、新任教員として必要なビジネスマナーやコミュニケーションの手法を身につけることを目的としており、後述の「次世代リーダー養成ゼミナール」や「講師養成講座」を修了した職員等が講師を務め、自身の大学職員としての経験を盛り込んだ実践的な内容となっている。今年度は愛媛大学で開催し、加盟校11校から72名（国立大学5校61名、私立大学・短期大学5校10名、高等専門学校1校1名）の参加があった。研修後のアンケートでは、知識やスキルの習得に関する感想に加え、大学の設置形態を超えた職員間のネットワーク構築にもつながったとして大変好評であった。

9月に開催した中堅職員向けの研修（レベルⅡ）においても、後述のSPOD-SDC資格取得者や「次世代リーダー養成ゼミナール」の修了生が講師を務め、受講した職員から「大変参考になった。自分もこういった講義をしてみたい」とロールモデルとして捉える感想も寄せられる等、講師としての能力を身につけた職員が次世代の職員を育成する仕組みもSDへの関心を高めるポイントになっている。

さらに、SPODとして、若手職員に対する研修のニーズを再調査し、プログラムを改善するため、過去5年間のレベルⅠ研修の参加者所属校の協力を得て、アンケートを実施した。この結果を踏まえて、研修の実施方法を見直し、レベルⅠ～Ⅲのいずれの研修についても、来年度はプログラム構成や講義時間を変更して実施する予定である。

職務別能力開発研修については、SPODフォーラム2017において学務系、社会連携系、国際連携系職員養成プログラムに相当するプログラムを実施した。また、経営者・管理者向けのプログラムについても同フォーラムにおいて、「教育改革を担う教職員のためのリーダーセミナー」を実施し、ストーリーテリングの手法を交えながら、教育改革戦略の多様化と自大学文脈の可視化に向けた組織開発についてレクチャー及びグループワークが行われた。受講者からは「ストーリーテリングにより他大学の現状等を知ることができ、新しいアイデアが得られた」等の感想が寄せられ、好評であった。

② 次世代リーダー養成プログラムの実施

「次世代リーダー養成ゼミナール」（2年間で8回実施）は、8期目を迎えた。今年度から受講対象を見直し、定員に満たない場合に限り、SPOD加盟校外職員の受け入れを可能とした。今期はSPOD加盟校の職員5名が加わり、7期生6名と合わせて計11名（国立大学4校5名、私立大学・短期大学4校6名）で実施した。本ゼミナールは、将来トップリーダー（役員）として、大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成することを目的としており、プログラムは「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成されている。受講生が主体的・自主的に学ぶ姿勢が求められ、修了するには、毎回課されるレポートやプレゼンテーション課題をこなす必要があり、各自が設定したプロジェクトの実施とそのレポート作成も含まれる。通常業務に加えての取組であるため、受講生への負荷は小さくないが、体系化されたプログラムの中で2年間の学びを共にするゼミナール生の間には絆も生まれ、組織を超えて強いつながりを保っている。

今年度は7期生6名が修了し、1～7期生の修了生は計54名となった。「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ、Ⅱ）」やSPODフォーラム等で講師を務める職員も増え、ゼミナールで学んだ知識、技能、態度を活かして、次世代の職員を育成していくサイクルにつながっている。

なお、一部講義について高等教育の第一人者を講師に招いて開講しており、ゼミナール受講生以外も受講できるよう、SPOD加盟校の職員にも開放している。今年度は延べ52名の教職員が当該講義に参加した。

③ 講師養成によるSDの継続的な実施

研修講師として必要な心構え、知識、技法を習得することを目的として、8月30日（水）～9月1日（金）の3日間にわたり、愛媛大学において「職員のための講師養成講座」を実施した。今年度は教員対象の授業デザインワークショップと一部合同で開催し、加盟校4校から5名（国立大学3校3名、私立大学1校1名、高等専門学校1校1名）の参加があった。将来のSPOD-SD講師養成だけでなく、説得力のある説明のポイントや話し方のレッスン等、日常の業務を遂行する上でも活かすことのできる内容となっている。最終日には、自身が設計したSD研修の模擬講義を行い、講師や他の受講者からアドバイスを受け、よりよい研修に向けて各々今後の課題を見出すことができた。研修後のアンケートでは、受講者全員が「受講したことによって業務の取り組み方が改善されると思う」と回答した。

今年度開講した「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ、Ⅱ）」、「SPODフォーラム」等のSD研修講師のうち10名は過去の講師養成講座修了者であり、いずれも受講者から高い評価を得た。今後も講師養成講座を受講した職員がSD研修講師を務めることができるよう、その養成に努めていく。

④ SPOD-SDCの輩出

職員の能力開発に関する知識・技術を修得していると認定された教職員に付与される「SPOD-スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（SPOD-SDC）」については、●ページに掲載している申合せに基づき、今年度新たに愛媛大学から2名の職員を認定した。現在SPOD-SDCは●ページに掲載のとおり合計19名となった。資格認定者は、各種SD研修講師を担当するなど、SPODや自大学等におけるSD事業に大きく貢献している。

（4）SPOD運営

コア校のFD・SD担当者等が一堂に会し、教職協働で事業の実施、運営上の諸課題を検討しているコア運営協議会を、平成29年度は●回開催（うち●回は遠隔会議システムにて実施）した。本協議会では、本事業の進捗状況の報告のほか、事業経費の執行、次年度の事業計画及び事業経費等についての検討を行った。協議会終了後、各加盟校への情報提供として、議事概要や配付資料をホームページに掲載した。また、コア校のFD・SD担当者それぞれで構成するFD/SD専門部会を各3回開催し、各事業の進捗状況や成果及び今後の課題について意見交換を行った。また、加盟校との連携協力を主な目的とした県内会議を、今年度は徳島県で12月に実施した。

また、加盟校の代表者で構成する総会と、加盟校のFD・SD各担当者が参加するFD・SD分科会を、3月に愛媛大学で開催し、事業の進捗状況や成果及び要望について意見交換を行う予定である。なお、今年度は、ネットワーク規約の加盟及び退会等に関する事項について、コア運営協議会において改正案の検討を重ねており、同総会で審議する予定である。

さらに、今年度から事業評価委員会の在り方を見直し、2年間の委員任期のうち1年目はSPODフォーラムの視察や活動報告書等に基づき各委員の立場から書面で意見をいただき、2年目に視察等を踏まえ、対面による事業評価を行う予定としている。

(5) 事業評価委員会からの指摘事項に対する対応状況

昨年度事業評価委員会委員からいただいた意見は、主に「FD・SDプログラムの充実」「SPOD事業に対する加盟校（特に私立大学）の関わり」「調査・研究の実質化」「SPOD事業評価の在り方」であり、これらの指摘事項に対して以下のとおり対応を行った。

「FD・SDプログラムの充実」については、各コア校で実施内容を標準化している新任教員研修プログラムにおいて、ワークショップのレクチャー部分を事前学習で行う「反転授業」を、徳島大学開催の「授業設計ワークショップ」で導入し、その効果検証を行った。新規プログラムとして、カリキュラム改善のためのプログラムとして「3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー；アセスメント・ポリシー）の開発と一貫性構築」を遠隔配信プログラムで、また、高等教育機関における戦略策定の手法を学ぶためのプログラムとして「戦略マネジメント論」を「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）」において開講した。さらに、SPOD-SDプログラムの改善に向け、より多くの加盟校職員が参加する「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）」について、受講者アンケートに加え、過去5年間の同研修参加者所属校SD担当者に対してもアンケート調査を行った。また、次世代リーダー養成ゼミナールのパンフレットを作成し、SPODウェブサイト等で周知を行った。

「SPOD事業に対する各加盟校（特に私立大学）の関わり」については、SPOD研修プログラム及び加盟校内講師派遣プログラムの活用状況の分析を行い、特に小規模校においてSPODがより多く活用されていることが分かった。また、研修プログラムをより利用しやすくするため、次年度に向け、研修プログラムに関する情報提供方法の見直しも行った。また、今後さらに幅広い加盟校からのSPOD-SDC輩出を目指すために、新たなプログラム「人材育成ビジョン」を次世代リーダー養成ゼミナールにおいて開講し、各加盟校へ開放した。

「調査・研究の実質化」について、FD専門部会では、上述の「反転授業」導入について調査研究を行い、SD専門部会では、次世代リーダー養成ゼミナールにおける修了プロジェクトの成果について、大学行政管理学会で報告を行った。今後も各加盟校のニーズや期待等を継続的に把握し、対応を進めていく必要があるため、FD/SD分科会や県内加盟校会議等を通じて意見交換を重ねていく。

「SPOD事業評価の在り方」については、各委員がより深くSPOD事業について把握できるよう今年度から見直しを行い、これまで行っていた実績報告書等に基づく評価にとどまらず、SPOD事業視察の場を提供することとした。この見直しに基づき、2年間の委員任期の1年目にあたる今年度は、SPODフォーラムの視察や活動報告書等をもとに、各委員の立場から書面で意見をいただき、2年目にあたる次年度に、視察等を踏まえた対面による事業評価を行い、今後の事業推進に役立てていく予定である。

なお、事業評価委員会の詳細な対応については、●～●ページに掲載する。

おわりに

上記のように、平成29年度も事業は概ね計画どおり進展し、多くの成果を生み出すことができた。特に今年度は設立10年目の節目の年であり、研修プログラムガイドやウェブサイト、事業運営等に関して見直しを行い、将来構想の長期的方針に掲げる「持続可能なSPODの組織体制を構築する」ための体制を整えるなどの進展が見られた。今回の見直しにより、SPODが加盟校教職員にとってより利用しやすいものとなり、今後も多くの教職員が自らの能力開発のためにSPODを活用いただくことを期待する。

SPOD加盟校においては、より一層本事業に御協力をいただくとともに、ネットワークの域を超えた方々からも引き続き御支援や御意見をいただければ幸いである。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

企画・実施統括者

小林 直人（愛媛大学教育企画室室長・教授）

平成29年度愛媛大学教育改革シンポジウム実施要項

■ 目的

愛媛大学の教育改革の現状を広く知らせるため、愛媛大学教育改革促進事業(旧国際連携促進事業の継続分を含む。以下同じ)採択課題の進捗状況及び成果を含め、学内外で評価されている本学の教育改革の取組について、広く公表し、教育内容・方法の改善に関する理解を深める。

■ 日時 平成30年3月2日(金) 13:30～15:50

■ 場所

- ・事例報告等 (プログラム1～3): 総合教育棟1(旧法文学部2号館) 3階 305
- ・ポスターセッション(プログラム4): 共通講義棟B(旧法文学部講義棟) 1階 CRI-1

■ プログラム

1. 学長挨拶【13:30～13:35】(5分)

2. 愛媛大学の教育改革について【13:35～13:45】(10分)

※平成30年度愛大教育改革GP特別テーマ及び教育コーディネーター研修会のテーマも併せて説明

3. 学内の教育改革の事例報告【13:45～14:25】

①『法文学部人文社会科学実践科目群「基礎留学英語」で活用する

オーダーメイド型短期英語研修準備教科書の新規開発』(15分)

※平成28年度愛媛大学教育改革促進事業(愛大GP)採択課題

②『フィリピン大学との連携による国際教育実習プログラムの拡充と系統化』(15分)

※平成28年度愛媛大学国際連携促進事業(国際連携GP)採択課題

③質疑応答(10分)

(休憩及び会場移動)

4. 愛媛大学教育改革促進事業採択取組の実施総括(ポスターセッション)【14:35～15:50】

ポスターによる発表, 参加者との質疑応答を通じ, 発表者・参加者双方が教育内容・方法の改善に関する理解を深める。また, 学生や一般参加者に対しても, 愛媛大学の教育改革の現状を広く知らせる。

- ・28年度採択(継続分)グループにおいては, 2年間の実績報告
- ・29年度採択(種目A・B)グループにおいては, 1年間の中間報告
- ・29年度採択(種目C・D)グループにおいては, 1年間の実績報告

■ 参加対象者 学部長, 教育コーディネーター, 一般教職員, 学生, その他一般